

テーマ：弱き者を助けてくださる神様の姿を知り、ますますこの方を誉めたたえる者として歩む

「人生において、他のいかなるものよりも、大きな喜び、楽しみや満足をもたらす、最高のものは何でしょう。それは神を知ることです。『主はこう仰せられる。「知恵ある者は自分の知恵を誇るな。つわものは自分の強さを誇るな。富む者は自分の富を誇るな。誇る者は、ただ、これを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていることを…』(エレミヤ 9:23-24)。神は、人々がどのような状態にあることを、最も喜ばれるのでしょうか。それは神を知っているという状態です。『わたしは…全焼のいけにえより、むしろ神を知ることが喜び』(ホセア 6:6)と神は言われるのです。…天地の主を知り、その主に仕えること以上に、誇るべき光栄あることが、他にあるのでしょうか。』(J・I・バッカー)

※詩篇 72:18-20

「ほむべきかな。神、主、イスラエルの神。ただ、主ひとり、奇しいわざを行う。とこしえに、ほむべきかな。その栄光の御名。その栄光は地に満ちわたれ。アーメン。アーメン。エッサイの子ダビデの祈りは終わった。」

※詩篇 89:52

「ほむべきかな。主。とこしえまでも。アーメン。アーメン。」

※詩篇 106:48

「ほむべきかな。イスラエルの神、主。とこしえから、とこしえまで。すべての民が、「アーメン」と言え。ハレルヤ。」

※詩篇 150:6

「息のあるものはみな、主をほめたたえよ。ハレルヤ。」

○誉めたたえられるべき主の三つの姿：

1. _____を憐れんでくださる方(1-3)

「神の恵みにあずかっている人は、優しい柔和な性質を受け継いでおり、同胞に対して非情になることはありません。虐げられている人たちの原因を受け止め、彼らの幸いのために真剣に心を傾けようとします。金銭を投げ与えて去ってしまうのではなく、彼らの苦しみについて調べ、その原因をえり分け、彼らを助け出す最善の策を検討し、そして実際に助けようとするのです。』(チャールズ・スポルジョン)

※ルカ 10:30-32

「ある人が、エルサレムからエリコへ下る道で、強盗に襲われた。強盗どもは、その人の着物をはぎ取り、なぐりつけ、半殺しにして逃げて行った。たまたま、祭司がひとり、その道を下って来たが、彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。」

※ルカ 10:33-35

「ところが、あるサマリヤ人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで、ほうたいをし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行き、介抱してやった。次の日、彼はデナリ二つを取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『介抱してあげてください。もっと費用がかかったら、私が帰りに払います。』」

2. _____を助け出してくださる方(4-10)

※箴言 28:13

「だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行うよう務めなさい。」

「取り巻きらが王を見舞いにきたとき、彼らは正しいことを口にしてました。『ご病気とお聞きして、とても残念です。私たちはあなたのために今までも、これからも祈っています。本当に早く良くなりますように。他のことは全てお任せ下さい。何か私たちにできることはありませんか?』しかし、これらの言葉は全くの偽善でした。この人たちはダビデの回復を願っているわけでは一切無かったのです。彼らは彼の元を去った後でこのように言っていたでしょう。『ダビデはひどい顔をしてませんでした?もう駄目かもしれませんね。まあ心配する必要はありません。このところ、彼は上手く色々な事を扱えてなかったし、変化の時ですよ。』彼らはダビデの前ではあることを言い、彼の前を離れると全く違うことを言っていたのです。」(ジェームズ・ボイス)

※創世記 27:36

「エサウは言った。「彼の名がヤコブというのも、このためか。二度までも私を押しつけてしまって。私の長子の権利を奪い取り、今また、私の祝福を奪い取ってしまった。」」

※ヨハネ 13:18

「わたしは、あなたがた全部の者について言っているのではありません。わたしは、わたしが選んだ者を知っています。しかし聖書に『わたしのパンを食べている者が、わたしに向かってかかとを上げた』と書いてあることは成就するのです。」

※1 テサロニケ 5:15

「だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行うよう務めなさい。」

3. _____を誠実に報いてくださる方(11-12)